

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生活課題に対応した学習充実事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	06	05	04
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	健康、安全などの生活課題に係る講座に参加を希望する市民	意図	健康、安全、男女の自立など生活課題に応じた学習機会を提供。
事業内容	そば打ち体験、親子で学ぶ調理実習や食育講座、バリアフリー事業等を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	未婚率の上昇、女性の就業率の上昇、勤労世代の勤務形態の多様化等により、生活スタイルも多様化しているため、テーマとなる生活課題も幅広くなってきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	講座開催回数	7	7	12	回	→→	そば打ち体験・バリアフリー演劇鑑賞会など
②	講座受講者数	243	131	482	人	→→	そば打ち体験・バリアフリー演劇鑑賞会など	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・例年実施している「そば打ち体験」や高齢者を対象とした健康寿命を延ばすための講座は定員を超える参加希望者が集まった。 ・子育て世代の学習支援のための一時保育を手助けするため、子育て支援者を育てる「子育て支援者養成講座」を講義と実践形式で実施した。その結果、参加者が子育て支援者として、現場で活躍している。 ・「バリアフリー演劇鑑賞会」や「流山市人権フェスティバル」を実施。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,322,121	3,569,811	2,655,549				
事業費(b)(円)		88,321	114,311	165,949				
うち一般財源		88,321	114,311	165,949				
職員給与費(c)(円)		5,233,800	3,455,500	2,489,600				
人役・職員(人)		0.60	0.40	0.30				
人役・再任用(人)		0.30	0.30	0.20				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市民の多様な生活スタイルの中から、市民がより必要と考える生活課題を拾い出し、新たな講座を実施する。	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 講座終了後の参加者の活動支援 講座のテーマに合った講師の発掘
②今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> 一時保育を提供するため子育て支援者を養成し、参加者に活躍の場を提供した。 健康寿命を延ばすために運動習慣の見直しなどのカラダ講座を実施した。 	④今後(H30以降)の改善計画	引き続き生活力の向上を目指し、食育の講座などを実施していく。